

# 舞子台地域おたすけガイド

2020年12月

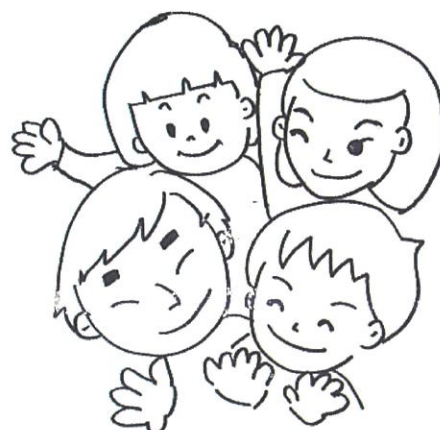
苔谷公園コミュニティセンター管理運営委員会 防災・防犯部会

舞子台防災福祉コミュニティ

# 目次

1. はじめに
2. 基本情報
3. 防災資機材リスト
4. 地震・津波の場合
5. 台風・豪雨の場合

## 参考資料



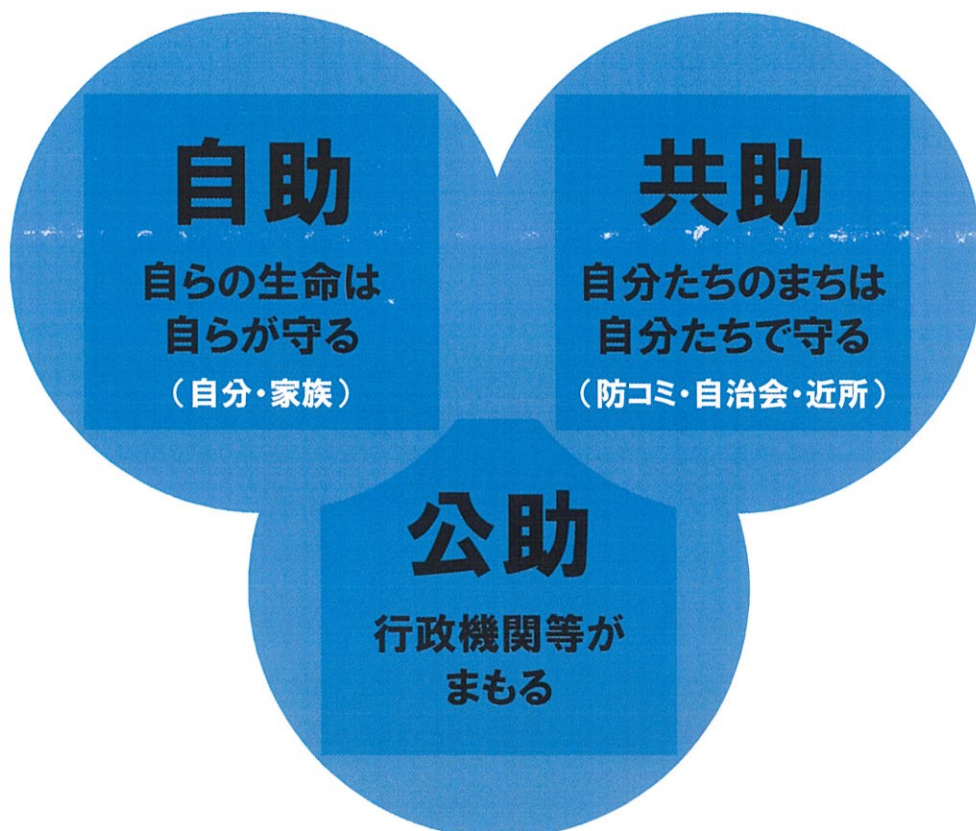
### 各行政機関・避難所連絡先

垂水区役所	708-5151
垂水消防署	786-0119
垂水警察署	781-0110
垂水建設事務所	707-0234
東舞子小学校	782-2712
歌敷山中学校	707-8864

# 1. はじめに

---

- 少しでも落ち着いて行動ができるように、平時に読んでおきましょう。
- 「地域おたすけガイド」は、災害発生時に、地域がいつ、どんな体制で、どのように行動すればよいのかをまとめたものです。
- 防災福祉コミュニティの役員だけでなく、いざというときには誰もが行動できるようその手順を記しています。
- 地域の状況は刻々と変化します。この冊子は毎年見直しを行います。
- 災害による被害を少なくするため、地域の防災力を高めましょう。



## 2. 基本情報

運営本部	<p>苔谷公園コミュニティセンター</p> <p><b>-運営本部の設置基準-</b></p> <p>「地震」震度5強以上の地震、または地震により被害が拡大する恐れがある場合</p> <p>「台風・豪雨」避難情報・気象警戒情報により、大規模な被害が発生すると予想され、役員が協議し必要と判断した場合</p>
緊急避難場所	<p>【屋内の避難所】</p> <p>東舞子小学校 / 歌敷山中学校</p>
避難所	<p>【屋外の避難所】</p> <p>アジュール舞子（津波時×）</p>
防災行政無線	アジュール舞子
防災資機材庫	苔谷公園コミュニティセンター
AEDの場所	苔谷公園コミュニティセンター
飲料水・給水施設	舞子中層配水池（舞子坂2丁目）
食料備蓄	
福祉避難所	舞子台ホーム / 苔谷公園コミュニティセンター

運営本部

災害情報を集約し活動拠点とする場所

緊急避難場所

命を守ることを最優先に、災害の危険から逃れるための場所

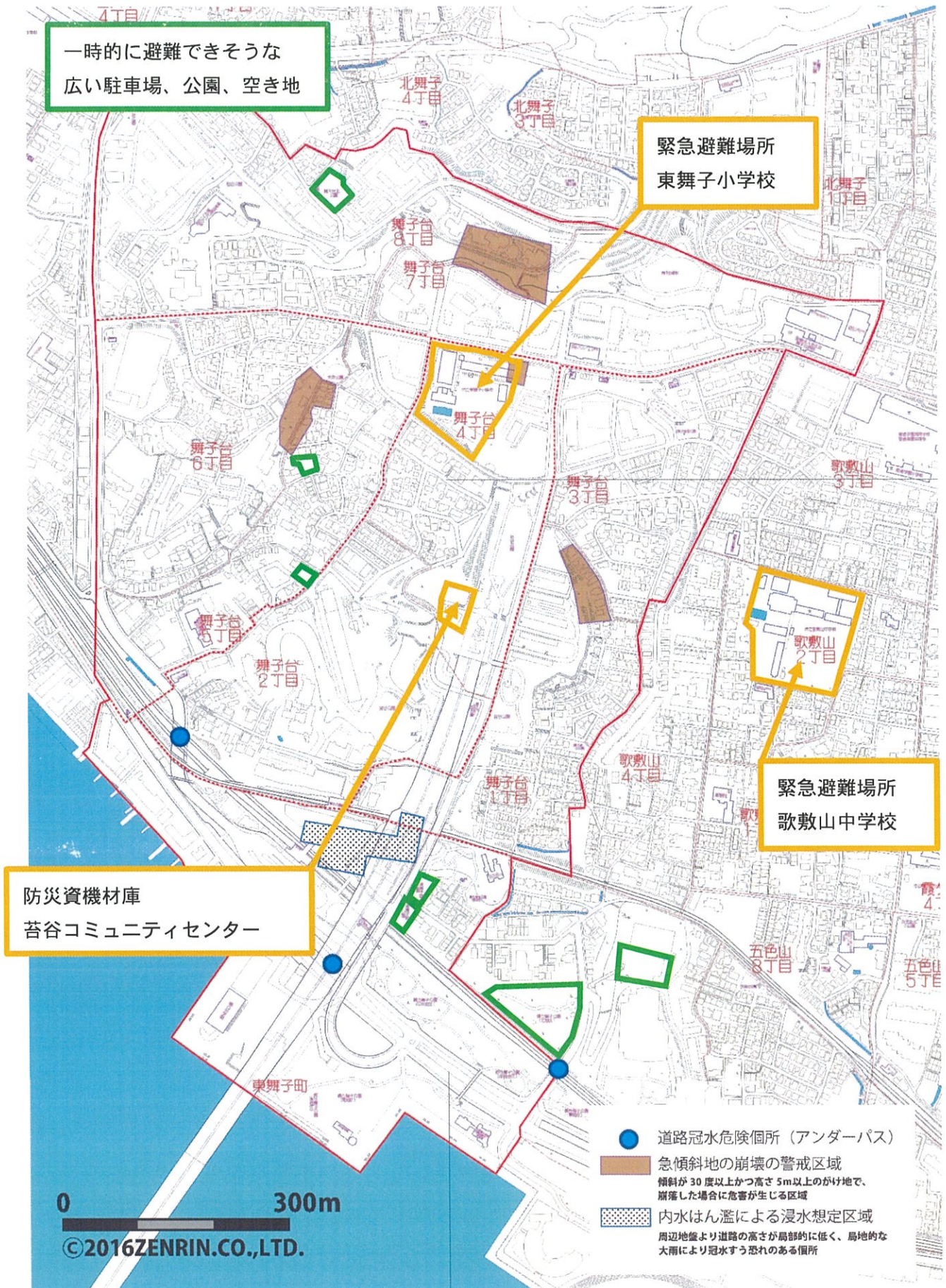
避難所

自宅が被災して帰宅できない場合に、一定期間、生活を送る場所

福祉避難所

災害時の避難所での生活において、何らかの特別な配慮を要する方々のために、市が二次的に開設する避難所

# 基本情報マップ「避難場所、一時的に避難できそうな場所」



# 基本情報マップ「ブロック・自治会」

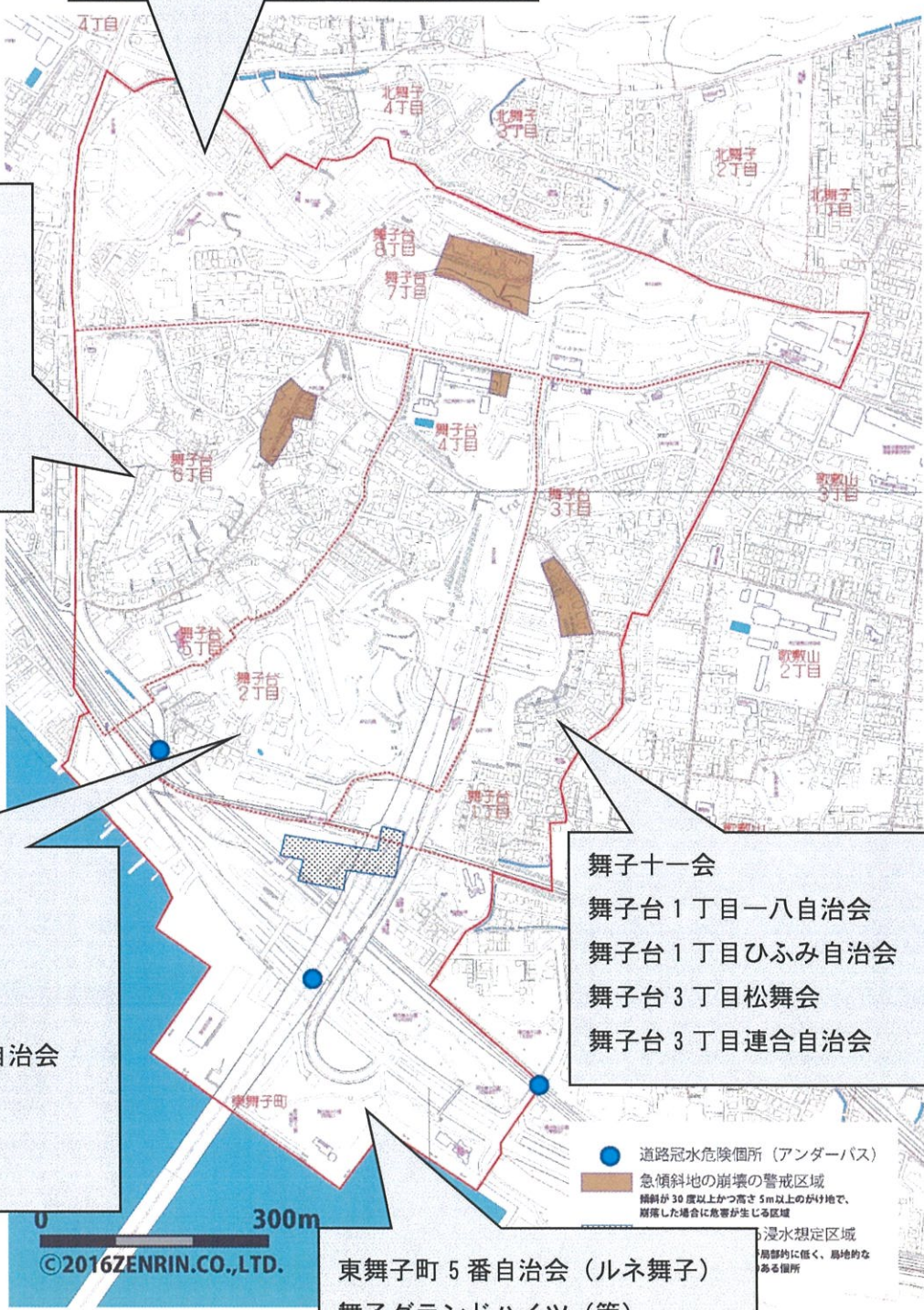
ビスタグランデ舞子（管）  
 グリーンヒルズ東舞子（管）自治会  
 ファミール舞子台自治会  
 北舞子第2住宅自治会

舞子台5丁目自治会  
 舞子台大坪自治会  
 舞子台6丁目五八会  
 南舞子台自治会  
 舞子台ハイツ（管）  
 舞子片山住宅自治会  
 舞子金作自治会

シーマークス舞子公園  
 舞子公園パークハイム（管）  
 苔谷自治会  
 東舞子台ハイツ自治会  
 舞子台グリーンマンション（管）自治会  
 ネバーランド舞子（管）  
 舞子中央自治会  
 舞子台4丁目自治会

舞子十一会  
 舞子台1丁目一八自治会  
 舞子台1丁目ひふみ自治会  
 舞子台3丁目松舞会  
 舞子台3丁目連合自治会

東舞子町5番自治会（ルネ舞子）  
 舞子グランドハイツ（管）  
 舞子マンション（管）  
 東舞子住民協議会



### 3. 防災資機材リスト

#### 荅谷公園コミュニティセンター

用途	品名	数量	備考
消火用	布バケツ	19	
	消火訓練用水槽	1	1 m <sup>3</sup>
	オイルパン	1	
	消火ホース	5	40×20 メートル
	消火用ホースノズル	2	
緊急・ 救護用	チェーンソー	2	日立 CS33EDFP エンジン駆動／新ダイワ A101-II 電動駆動
	発電機	1	ホンダ EP60
	ロープ	21 束	
	災害対策リュック	1	
	折り畳み式タンカ	1	
	簡易タンカ用ポール	8 本	
	簡易タンカ用毛布	3 枚	
救出 搬送 その他	ヘルメット	22	
	コードリール	3	29×2、20×1
	ハンドメガホン	4	肩掛け 1、ハンド 3
	ハロゲン投光器	3 組	ライト 6、スタンド 3
	ゴム長靴	4 足	
	台車	2	一輪車 1、手押車 1
	ガラ袋	2	25 枚×2
	脚立	3	4 段×2、2 段×1
	ノコギリ	2	
	高枝はさみ	3	
	三角巾 大巻	3C/S	100 枚×3
	スコップ	8	
	ハンマー	3	木 2、鉄 1
	カナテコ	2	
	ツルハシ	1	
	六角バール	2	
	パイプレンジ	1	
	バルブ開け T 型	2	
	誘導赤色灯	2	
	軍手	200	
	トランシーバー	2	ソニー ROGER-6CB87R
	ブルーシート	4	27×36、2 枚 36×54、1 枚特大
携帯ガソリンタンク	1	5 リットル	
炊き出 し用具	釜	1	5 升焚き
	鍋	5	45 : 2、48 : 1
	ガスコンロ	3	都市ガス×1、LP×2

## 防災資機材リスト

---


### 遊園エリア防災倉庫備品(トンネル東)

品名	数量	備考
カナズチ	5	
ノコギリ	4	
ペンチ	4	
シノーA型	5	
ヒラタバー	5	
軍手	2 束	
ロープ	1 束	
SUPER LAC	2 機	SE65-12 (バッテリー?)



## 4. 地震・津波の場合




### 発生直後 「身の回りの確認行動」

自 助	共 助
<input type="checkbox"/> 余震などに備える	
<input type="checkbox"/> 水・ガス・電気・火元の点検	
<input type="checkbox"/> 逃げる準備 ・履物、靴下をはく・懐中電灯準備 ・ドアまたは窓の開放	
<input type="checkbox"/> 家族の無事を確認	

### ～1時間後 「情報を集める・発信」

自 助	共 助
<input type="checkbox"/> 情報収集 テレビ、ラジオ、携帯電話	自治会、ブロックなど (P5 参照) で動ける人が、地区の状況を確認する。  →情報をまとめる ・情報集約後、本部に報告し、必要であれば応援の要請を  →対応できることは行う ・けが人などを安全な場所へ移動 ・道路に落ちているものを寄せる
<input type="checkbox"/> 安全な場所へ移動 広い空地、駐車場など	
<input type="checkbox"/> 周辺の安全確認 近所で火災などが発生していないか確認	

## ～3 時間後 「状況を理解し、次の行動へ」

自 助	共 助
<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 避難所等へ移動 ※自宅避難する場合は、近隣に知らせておく</li> <li>□ 身内や、近隣の人へ安否、避難場所等を報告</li> </ul>	<p>コミセンに集まった人で、運営本部を立ち上げ</p> <p>役割分担を行い、以下の行動へ</p> <p><b>情報収集・伝達</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 地域情報収集 地図やホワイトボード、模造紙を準備し、状況を書き出す</li> <li>□ 広域情報の収集 ラジオ、テレビ、防災行政無線等から正しい情報を入手</li> <li>□ 情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報掲示板などに掲示する</li> <li>・ ハンドマイクで話しながら歩く</li> </ul> </li> </ul> <p><b>救出・救護/消火活動</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 無理はしないで、2人以上で行動する</li> <li>□ 防災資機材庫の場所 苔谷公園コミュニティセンター</li> </ul> <p><b>安否確認</b> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 各住民が近隣世帯の確認を行う <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大きな声で呼びかけ</li> <li>・ 状況がわからなければ、庭などへ入る（2人1組）</li> </ul> </li> <li>□ 運営本部へ情報を集約する</li> </ul>

# 数時間後～

## 区・消防署への連絡

- 電話の使用が可能か確認
- 火災・救助 [119番]

使えない場合は垂水消防署舞子出張所へ紙に状況を書いて渡しに行く

※全員出動していない場合もある、その時は目立つところに貼る

- 被害情報、活動情報等 [垂水区役所 (代) 708-5151]

## 防火・防犯パトロール

- パトロール班の結成
- 交代で地域内のパトロールを実施

## 避難所の立ち上げ・運営

- 小学校に避難所が開設されたかを確認する
- 学校関係者・区役所職員との合流
- 必要に応じて避難してきた人の名簿をつくる
- 歌敷山中学校や霞ヶ丘小学校と連携をとり、避難者の把握をおこなう



## 5. 台風・豪雨の場合

### 「事前に備えよう！」

- ・ ニュースをよく確認する
- ・ 自宅避難する場合に備え食料を用意しておく。また「2階の崖と反対の部屋」「雨戸がある部屋」など避難する部屋を決めておく

### 「防災気象情報と対応する行動」

警戒レベル	住民がとるべき行動	避難情報	情報発信源
警戒レベル5 すでに災害が発生している状況	命を守るための最善の行動をとる	NEW 災害発生情報	市町が発令
警戒レベル4	<b>全員</b> 避難	避難勧告・避難指示(緊急)	
警戒レベル3	高齢者 障がい者 乳幼児 など その支援者は避難、他の住民は準備	避難準備・高齢者等避難開始	
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの避難行動を確認	洪水注意報・大雨注意報	気象庁が発表
警戒レベル1	防災気象情報などの最新情報に注意するなど、災害への心構えを高める	警報級の可能性(早期注意情報)	

#### ☐ 警戒レベル2

- ☐ 時間に配慮して早く避難
- ☐ 電話連絡を取る
- ☐ 公共交通の運行状況の確認

どこへ避難！  
安全な部屋へ移動。近隣の  
親戚の家など「マイ避難  
所」を考えておく

※避難所が開設された場合は、東舞子小学校

#### ☐ 警戒レベル3

- ☐ 近所の人に声かけして早めの避難
- ☐ 援護を必要な方と避難
- ☐ 道路上の水の流れなどを確認、遠くから、崖の観察
- ☐ 主要道路・橋や川の状況を確認 ※見には行かない。

#### 過去の災害の記憶

東舞子町で暗渠がつまって、床上浸水したことがある

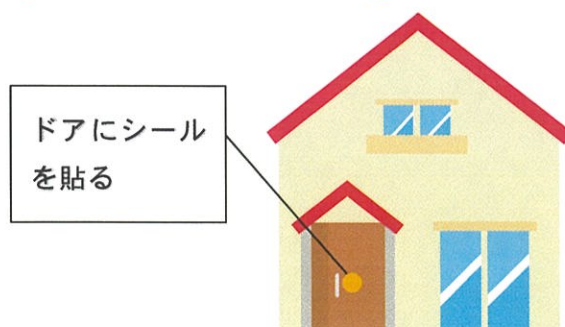
# 安否確認

【運営本部】

- ◇ 安否確認情報の収集・名簿の作成
- ◇ 安否不明者の確認（民生・児童委員等と協力し安否確認を行う）

## 手順

- ◇ 外観の確認
  - 建物に甚大な被害がないかを確認する。
- ◇ 声かけ・呼びかけ確認
  - 門の外側で大きな声で呼びかけ、安否を確認する。
- ◇ ドアをノックする
  - 応答がないときは、ドアをノックしてみても確認をする。
- ◇ 庭、勝手口等の確認
  - 状況が把握できないときは、庭、勝手口などの確認を試みる。
- ◇ 確認シール貼付
  - 確認した状況に応じて、玄関ドアにシールを張り付けする。
  - シールの色分け
    - 救助支援の必要あり
    - 安否確認できず
    - 確認済み・支援の必要なし



# 情報収集・伝達

## 手順

### ◇ 広域情報の収集

- 災害や被害、気象等の情報を収集する。
- 通信手段が確保されている場合は、ラジオ、テレビ、防災行政無線のほか、電話等も活用する。

### ◇ 行政情報の収集

- 各種機関へ直接連絡を取り、必要な情報を収集する。また、定期的に区役所等に出向くなどして、公開されている情報を収集する。

### ◇ 地域情報の収集

- 集まったメンバーから地域の情報を聞き出す。
- 収集した情報はホワイトボード等に時系列で記載する。
- 地域全体に情報を伝達する。広報掲示板・主な場所での掲示、その他（ハンドマイク、回覧板）の情報伝達手段を活用する。

# 救出・救護活動

【運営本部】

- ◇ 防災資機材（ジャッキ、のこぎり、バール等）を貸出
- ◇ 救護（応急手当）できる人の確保・派遣

## 手順

- ◇ 被害の実態把握
  - 倒壊建物に取り残されている人がどのような状態か（けがの程度も含めて）確認する。
  - 建物の倒壊状況および内部に進入するスペースがあるかを確認する。
  - 二次災害が発生する危険要因がないか確認する。
- ◇ 二次災害の防止
  - 火災の発生に備え、消火器や水バケツを用意する。ガスの元栓や電気のブレーカーは早期に閉止や遮断を行う。
  - 木片、トタン、ガラス等の軽量物を除去する。
  - 柱、梁等の大きな物の周辺物を除去するときは、これらの大きな物がずれたり倒壊しないようにロープ等で支持、固定する。
- ◇ 要救助者の救出
  - 要救助者の近くまで掘り進んだ後は、手作業を進める。
  - 要救助者を無理に引き出そうとしない。
- ◇ 応急手当
  - 出血しているときは清潔なガーゼ等で傷口を圧迫止血する。

# 消火活動

【運営本部】

- ◇ 出火場所を確認し、消火活動人員を割り振る

## 手順

### ◇ 消火用水の選定

- バケツリレー、消火器等の有効活用を考える。
- 火元に近い消火用水を選定し、強風時には風上側の消火用水を使うなど風向きに注意する。
- 河川使用時はバケツ等に紐を結び、くみ上げの活動が行いやすい方法で水の流れに向けて投入し、くみ上げ後、小分けしバケツリレーを行う。
- 近隣に設置してある、消火器を活用し消火活動を行う。



調査票No.( )

# 避難者調査票

取扱注意

※太枠部分は必ずご記入ください。他の記載欄は職員が記入します。

緊急避難場所名 ( )

①記入時点	年 月 日 時 分	②入所日	年 月 日
③代表者氏名		氏名	
④住 所	〒 -	⑧親族などの連絡先	住所
			〒 -
⑤電話番号	( ) -	⑨自宅の被害状況	<input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 大規模半壊 <input type="checkbox"/> 半壊 <input type="checkbox"/> 一部損壊 <input type="checkbox"/> その他( )
⑥電話番号(携帯)	( ) -	⑩避難場所	<input type="checkbox"/> 建物内( ) <input type="checkbox"/> 車中泊(避難場所敷地内) <input type="checkbox"/> 持参テント(避難場所敷地内) <input type="checkbox"/> その他( )
⑦車種・色・ナンバー			

⑪避難場所滞在理由

ライフライン不通(電気・ガス・水道・電話) 余震が不安  
自宅の片づけができない 必要な物資が手に入らない  
その他( )

⑫家族構成など		⑬以下に該当するものがあれば 項目を○で囲ってください	⑭健康状態確認・備考欄 (病気や食物アレルギーなど)
フリガナ 氏名	年齢 続柄		
代表者	年 月 日生 歳	ア. 要介護3以上 イ. 障がい(身体・知的・精神・発達・内部) ウ. 難病 エ. 妊産婦・乳幼児	<input type="checkbox"/> 熱(37.5度以上)がある、熱っぽい <input type="checkbox"/> 咳、鼻水、咽頭の痛み、倦怠感などがある <input type="checkbox"/> 2週間以内に感染症患者との接触あり (退所日、退所先)
ご家族等	年 月 日生 歳	ア. 要介護3以上 イ. 障がい(身体・知的・精神・発達・内部) ウ. 難病 エ. 妊産婦・乳幼児	<input type="checkbox"/> 熱(37.5度以上)がある、熱っぽい <input type="checkbox"/> 咳、鼻水、咽頭の痛み、倦怠感などがある <input type="checkbox"/> 2週間以内に感染症患者との接触あり (退所日、退所先)
ご家族等	年 月 日生 歳	ア. 要介護3以上 イ. 障がい(身体・知的・精神・発達・内部) ウ. 難病 エ. 妊産婦・乳幼児	<input type="checkbox"/> 熱(37.5度以上)がある、熱っぽい <input type="checkbox"/> 咳、鼻水、咽頭の痛み、倦怠感などがある <input type="checkbox"/> 2週間以内に感染症患者との接触あり (退所日、退所先)
ご家族等	年 月 日生 歳	ア. 要介護3以上 イ. 障がい(身体・知的・精神・発達・内部) ウ. 難病 エ. 妊産婦・乳幼児	<input type="checkbox"/> 熱(37.5度以上)がある、熱っぽい <input type="checkbox"/> 咳、鼻水、咽頭の痛み、倦怠感などがある <input type="checkbox"/> 2週間以内に感染症患者との接触あり (退所日、退所先)

聞き取りメモ(職員記入欄)

記入者名( )

安否確認のための問合せへの対応(氏名及び住所)に同意しますか?( 同意する ・ 同意しない )

※この用紙に記入していただく情報については、食料や物資の配布、健康に関する支援などを行うため、区災害対策(警戒)本部や二次的避難先と情報を共有しますが、それ以外に使用致しません。

## 参考資料

### 非災害用伝言サービス

#### ■ 災害用伝言ダイヤル（171）

災害時に、固定電話、携帯電話・PHS等の電話番号宛に安否情報（伝言）を音声で録音（登録）し、全国からその音声を再生（確認）することができる。

#### ■ 災害用伝言板

携帯電話・PHSのインターネット接続機能で、被災地の方が伝言を文字によって登録し、携帯電話・PHS番号をもとにして全国から伝言を確認できる。

#### ■ 災害用伝言板（web171）

パソコンやスマートフォン等から固定電話や携帯電話・PHSの電話番号を入力して安否情報（伝言）の登録、確認を行うことができる。

※連絡を取りたい人の電話番号を覚えるもしくはメモにして持っておく必要あり。

#### ■ 災害用音声お届けサービス

専用アプリケーションをインストールしたスマートフォン等の対応端末から、音声メッセージを送信することができるサービスで、現在、NTTドコモ、KDDI（au）、ソフトバンク、ワイモバイルの各社でサービス提供されている。平成25年4月1日より災害用音声お届けサービスを提供している通信事業者間で音声メッセージの送付が可能になった。

### 家族で決めておく「マイ避難」

- ・ 集合場所／避難場所
- ・ 災害時の連絡手段
- ・ 連絡の取り次ぎ先

## 参考資料

### -防災グッズの備え-

～日常使用しているもので不足がないか確認し、準備～

#### 非常食・飲料水

- 飲料水（ペットボトルなど）  
※3日分×人数×3日分
- 非常食（乾パン・缶詰・レトルト食品・調味料、チョコレートなどの嗜好品等）

#### 応急医療品・常備薬

- けが用の薬（ばんそうこう、包帯、消毒液、キズ薬、湿布など）
- 病気用の薬（かぜ薬、鎮痛剤、胃腸薬、持病の薬（処方箋のコピー）、体温計など）

#### 日用品

- ライター、マッチ、ろうそく
- 万能ナイフ類（はさみ、ナイフ、缶切りなどの複合ツールが便利）、割り箸や紙食器類、ラップ類
- ビニール袋
- 筆記用具（メモ帳、ペン）
- ラジオ（AM/FMとも受信可能）
- 時計
- 懐中電灯
- 電池の予備
- ロープ、ひも、ガムテープ
- 使い捨てカイロ
- 携帯電話用バッテリー、簡易充電器
- タオル
- 毛布、タオルケット、寝袋
- レジャーシート、新聞紙、段ボール
- 安全ピン

#### 衛生用品

- 洗面用具（せっけん、歯ブラシ）
- ティッシュ、トイレトペーパー
- 生理用品、紙オムツ
- ウェットティッシュ
- マスク
- 衣類等
- ヘルメット、防災ずきん
- ジャンパーなどの上着
- 下着、靴下
- 手袋、軍手
- レインコートなどの雨具

#### 貴重品

- 現金（10円玉などの小銭も）
- 預貯金通帳（のコピー）、印鑑
- 保険証書や権利書（のコピー）
- 健康保険証（のコピー）
- 免許証、身分証明書（のコピー）
- 家族の写真

#### 妊婦の方、乳幼児

- 母子手帳、診察券
- 粉ミルク、粉ミルク用の飲料水
- 哺乳瓶、哺乳瓶の消毒剤
- 離乳食、離乳食用のスプーン
- 子ども用の玩具
- 子ども用の歯ブラシ
- おんぶ紐
- 肌着、赤ちゃんの服
- 洗淨綿
- 赤ちゃん用の爪切り

#### 高齢者の方

- 介護手帳
- 補聴器、入れ歯、予備の老眼鏡

避 難 世 帯 リ ス ト

	世帯主氏名	住所(垂水区以降の住所)	男性(人数)	女性(人数)	合計(人数)	到着時刻	帰宅時刻
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

※ 垂水区以外の避難者は都道府県名から住所を記入すること ※ 避難者が20世帯を超える場合は2枚目以降に記入すること